



**エレキギター初心者さんが  
陥りやすい現象をまとめました**

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は文原寛和に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

### 【その他】

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

### 【推奨環境】

このレポートに記載されている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader を下記のページよりダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

もくじ

はじめに.....	5
1:ジャック接続 面倒くさい現象.....	6
(1)人間の性.....	6
(2)対処法.....	7
2:とにかくセッティングが面倒くさい現象.....	8
(1)人間の性.....	8
(2)対処法.....	8
3:なんとなくギターを持つのがおっくう現象.....	9
(1)自己イメージが原因です.....	9
(2)対処法.....	9
4:弦が錆びて弾きづらいのに気付かない現象.....	10
(1)タイトル通りです.....	10
(2)対処法.....	10
5:手が汗ばんで弾きづらくなる現象.....	11
(1)タイトル通りです.....	11
(2)対処法.....	11
6:アンプから音出すだけで満足してしまう現象.....	12
(1)気持はわかります.....	12
(2)対処法.....	12
7:音楽をやっている(何か練習している)と言うだけで満足してしまう現象.....	13
(1)最初の2週間が勝負です.....	13
(2)対処法.....	14
8:音楽トークに満足してしまう現象.....	15
(1)タイトル通りです.....	15
(2)対処法.....	15
9:トラブル対処できなくて諦めてしまう現象.....	16
(1)トラブルを舐めてかからないで下さい.....	16
(2)対処法.....	16

10: 機材マニア、コレクターになってしまう現象.....	17
(1) エレキギターは、ある意味オタク系の趣味です.....	17
(2) 対処法.....	18
おわりに.....	19

## はじめに

それでは早速、  
エレキギター初心者さんがギターに慣れてきたころに  
陥ってしまいやすい現象を、まとめてお伝えしようと思います

これらの現象を意図的に回避する事で  
無意味に挫折したり、長期間練習をさぼってしまうなどの状態を  
回避することができます

よろしければ参考になさってください  
タイトル通りのことを  
そのまま詳細解説していきます

特に難しいことはありません

## 1:ジャック接続 セッティング 面倒くさい現象

### (1)人間の性

人間は、「ジャック接続」「セッティング」を面倒くさいと感じてしまう動物です  
これが原因で、やった方がいいことを、後回しにしてしまうものなんです

しかし、エレキギターは、ジャック接続、セッティングをしないと、  
その基本的な機能を発揮しません  
良い練習もできません

自分専属のローディー(助っ人)さんが、  
いつもセッティングをしてくれるのであればよいですが、  
そんな環境は、あり得ないと思って下さい  
自己管理が大切です

## (2)対処法

毎日練習するわけですから、ジャックしっぱなし、セッティングしっぱなし、エレキギターを手にとって、スイッチを入れるだけで、すぐ練習できる状態にしておくのも手です

これによって、練習への障害を一つ取り払えるなら、はじめのうちはアリだと思います(機材的には片づけた方がよいのですが・・・)

また、ケーブル類を壁掛けにして、  
ジャック接続 ⇔ 片づけ  
がスムーズになるセッティングにしておくのもよいでしょう

律義に、毎度毎度、片づけようとする方ほど、セッティングへのハードルを高くしているという、発想の逆転も必要です

もちろん、スッキリ片付いているほうがモチベーションが上がる方もいますので、この辺は個人個人の自由です

「やる気がなくても継続できる」というスタイルで、日々、対処する事をオススメします

この方が、無理なく練習を継続できるからです

## 2:チューニング面倒くさい現象

### (1)セッティングと同様です

セッティングと同様で、  
チューニングを面倒くさがってしまう方が多いのは事実です  
(チューニングもセッティングの一環だと考えることもできます)

### (2)対処法

こればかりは、基本的に、慣れるしかありません

また、上達してくるとほど、  
チューニングの重要度が理解できるようになってきます  
弦楽器というは、チューニングがとても重要な楽器です

初心者さん程、「チューニングなんて、大体、合ってればいいでしょ？」  
という感覚なのです　これではまずいんですね  
大体じゃだめです　ちゃんと合っていないとだめ

本物のプロは、チューナーなしで、耳だけでも、正確なチューニングができます

つまり、チューニングにも腕前があって、  
それはエレキギターの腕前と連動しているのです

はじめはこんなこと言われても、ちんぷんかんぷんでしょうけど、  
上達するに従って分かってきます

とにかく、  
毎度、チューナーでちゃんとチューニングしましょう　初めはこれしかないです



### 3:なんとなくギターを持つのがおっくう現象

#### (1) 自己イメージが原因です

この現象は、ギターを持つこと自体が、  
特に理由もなく、おっくうになってしまう感じの出来事です

深く突っ込むと、自分が描く自分が、どうなのか、ということです

ギターを買った直後なら、考える必要はないでしょうが、  
買って、少し時間が経過したあたりから、知っておくとよい話です

自分がギターを持つ姿に、慣れ親しんでいなくて、

もともと、持ってなかったわけだから、  
元の姿に戻ろう、つまり、ギターは持たないでおこう  
と、何気なく脳(無意識)が思ってしまうのです

#### (2) 対処法

鏡の前で、ギターを持って、  
楽しく振舞ってみるといいかもしれません

また、エレキギターを始めたばかりであれば、

友達や家族に、  
「ギターを持ってるだけで楽しい」みたいな話をしてみるのもいいかもしれません

とにかく、ギターを手に取っていることへの抵抗感を、  
無意識レベルで取り去ってあげるのです

## 4:弦が錆びて弾きづらいのに気付かない現象

### (1)タイトル通りです

タイトル通りの現象です

初心者さん程、弦の錆びに気づきづらいものです

弦がさびてくると、滑りが悪く

ポジションチェンジもやりづらくなって、

スライドなんてできたものではありません

### (2)対処法

弦の手入れ、交換については、

「エレキギター初心者脱出プログラム」の、専用サイト、

プログラム1 必要なグッズ&演奏の準備

「弦の手入れ」「弦の張り替え方」

でも解説しています

なので、細かい説明は避けます

初心者さん程、錆びに気づきづらく、

そんな原因でも挫折につながってしまう、

ということを肝に銘じておいてください

弦をギタークロスでこまめに拭く癖をつけましょう

## 5:手が汗ばんで弾きづらくなる現象

### (1)タイトル通りです

これも、タイトル通りの現象です  
汗っかきの方ほど、注意が必要です

エレキギターを長時間、弾けるようになってくると、  
さらに考えていかないとなりません

放っておくと、弦がさびやすくなったりもします

### (2)対処法

気がついた時に、手を洗ったり、  
ウェットタオルを利用したりしましょう

汗ばんだ状態でギターを弾いた後、  
手がすっきりしてから弾くと、  
凄く弾きやすいことが分かります

## 6: アンプから音出すだけで満足してしまう現象

### (1) 気持はわかります

ギターアンプから音を出していると  
音量や、アンプそのもの、ギターのクオリティなどに満足してしまうものです

本来の目的は、エレキギターを弾きこなせるようになることだったはずが、  
いつしか脱線してしまうパターンですので、注意が必要です

もちろん、アンプから音が出ていることそのものを「かっこいい」と思えることは  
大切なことですが、「それだけ」だと、意味なくなってしまうんですね

これに気付くと、その矛盾に耐えられなくなって、  
上達を諦めてしまうパターンを見た経験が、文原にはあります

### (2) 対処法

エレキギターとギターアンプに、慣れるしかありません

「かっこいいなあ」という気持ちは持ち続けるべきですが、

上達するには、アンプから音が出ることが、  
当たり前で、使いこなせるようになるべきですよ

何度も繰り返し、アンプから音を出して、  
エレキギターというカテゴリを、自分のモノにしてしまいましょう！

## 7: 音楽をやっている(何か練習している)と言うだけで満足してしまう現象

### (1)最初の2週間が勝負です

人間は、何かを習慣にするためには2週間必要だ、とよく言われます

で、エレキギターを練習できること、そのものが嬉しい！  
っていう感覚って、正直、最初の数日くらいじゃないかと思っています

どうしても飽きがきちゃうんですね  
すると、「あ、もう今日は練習いいかな」となってしまいうわけです

それで、気が向いたところに、  
「あーやっぱり練習しないとな」という気分になって、  
エレキギターを手を取る

何気なしにフレーズを数分弾く  
また飽きたのでエレキギターを置く

すると……  
エレキギターを練習する事、そのものに、満足してしまう

というサイクルに陥りやすくなってしまいます  
本来、かっこよく弾きこなすはずのエレキギターなのに、

持って練習するだけで満足してしまうようになってしまっは、  
本末転倒と言えます

## (2)対処法

ですから、「エレキギター初心者脱出プログラム」  
の、指示通りに、素直に練習して下さい

この現象の大きな要因は、  
ギターを弾いている自分に違和感があること、  
何気なく、練習目的もなく、ギターを手にとってしまうこと、  
などです

何もしないよりは全然ましなんです、  
それだと目的意識を持って、上達していくことができません

最初の2週間ほど、  
「エレキギター初心者脱出プログラム」  
の、指示通りに、素直に練習して下さい

素直さ、が大切です

素直にしばらく練習していけば、  
この現象は、心配なくなってくると思います

## 8: 音楽トークに満足してしまう現象

### (1) タイトル通りです

音楽トークをすることは、  
上達にもつながるので、とてもよいことですが、

やはり、それぞれに満足してしまっただけではいけません  
こうなると、普段の練習から、脱線しがちになり、挫折につながります

練習して、上達して、次のステップ  
これが何より大切です

### (2) 対処法

トークする内容は、基本的に、  
学んだ内容の、アウトプットにしましょう

または、それに関する質問にすると良いと思います  
こうすると、トーク内容が、練習と直接、結びついてくるはずです

話す相手にもよりますし、  
楽しく、相手に気を使ったトークすることは大切です

ただ、その内容は、選択できます

ですから、自分の現状を  
より良いものにしていける、学ぶ内容のある話題を  
チョイスするようにしましょう

## 9:トラブル対処できなくて諦めてしまう現象

### (1)トラブルを舐めてかからないで下さい

何かを始めると、トラブルがつきものです  
エレキギターは、電気を通して演奏する楽器ですから、  
そりゃもうトラブルだらけなのです

部屋で1人で練習するだけなんだから、  
トラブルくらい、大したことないだろ、と言う方ほど注意が必要です

### (2)対処法

トラブルの原因は何か、と考え、対応する癖を付けて下さい

例えば、何だかギターが弾きづらいな、と思ったら、  
弦が錆びていたり、古くなって弾きづらくなっているのかもしれませんが

エレキギターの音がアンプから出ない、という場合なら、  
エレキギター内部で断線しているか、ギターシールドが断線しているか、  
ギターアンプが壊れているか、そのアンプ用の電池がなくなっているか、

この辺の原因が考えられます  
どの道、原因があるのです  
原因をつぶして改善すれば、トラブルは解消できます

良く分からない場合は、文原を含め、分かる人に聞いて、助けてもらいましょう

昔の文原と同様に、「何が何でも自分で！」「我流で！」と考える人ほど、  
変に遠回りしたりしてしまうものなので注意が必要だと思います



## 10: 機材マニア、コレクターになってしまう現象

### (1) エレキギターは、ある意味オタク系の趣味です

エレキギターというのは、存在そのものがかっこいいわけですから構えて立つ姿が、さらにカッコよかったりするのです  
(感じ方に、個人差はあるでしょうが)

で、機材そのものの魅力が分かり出すと、  
ついその魅力に取りつかれてしまうものです

また、スポーツなどと違い、  
一か所にとどまって、ギターを相手にひたすら練習する事になるので、  
パソコンで何かしたり、学校の勉強をしたりしているのと似ています

結局どうかと言うと、エレキギターというカテゴリは、  
オタク系だとも言えるんですね

そして、エフェクター、ケーブル、アンプ、  
ギター本体、ギターの種類、弦、ピックアップ、他、ギターの各種パーツ……

機材やパーツに自体にハマり出すと、キリがなくなってくる一面があります  
カッコイイ上に、オタク度がレベルアップしてってしまうのです

適度にオタクなのは良いことだと思うのですが、  
限度をわきまえないといけません

## (2) 対処法

機材の魅力が分かり出している時点で、  
ある程度エレキギターは上達してきているはずですので、  
機材の選択に、「目的」を持つようにします

この曲の、このパートをあの感じで弾きたいから、  
このエフェクターは必要だ、みたいな感じですね

もし、「何となくエフェクター全種類集めよう」、「ワウペダルが欲しいから買う」  
みたいなコレクター発想があるなら、それは捨てるようにして下さい  
エレキギター上達という本質とは、なんら関係がありません  
ここで発想がぶれると、意外にも、挫折してしまうこともあります

大切なのは、  
「どういう演奏をしたいのか それには、どんな機材が必要なのか」  
という視点を持つことです

必要なものを必要なだけ手にする、という発想でいて下さい

もちろん、新しく買ったエフェクターなどは、  
手にすると嬉しいものですし、その気持ちやモチベーションが、  
画期的なアイデアにつながったりもします

純粋な気持ちは忘れないでほしいです

しかしやっぱり、必要ないものには、フォーカスしない方がいいでしょう

限られた時間とお金は有効に使うように心がけるべきですので、  
このあたりは注意が必要です

## おわりに

以上、  
エレキギター初心者さんが陥りやすい現象と、その対処法を  
10個お伝えしました

この10個を知っておくだけで、  
自分が似たような状況になったとき、  
ちゃんと対処すれば、挫折を回避する事ができるでしょう

参考にしたり、  
この現象に近い状態かな？  
と思ったら、遠慮せず  
文原のサポートを利用するようにして下さい

この自分に対する対応のスピードが、  
あなたのエレキギターライフの命運を分けることもあるからですね

文原も、なんども諦めて止めてしまおうと思ったエレキギターですから、  
あなたが止めたくなくなってしまう気持が嫌と言うほどわかります

なので、何としてもあなたのお役に立ちたいと思うのです

ともかく、文原サポートは徹底的に利用するようにして下さい

よろしくお願ひします